

平成 28 年度 リポジトリ登録申請件数 **No.1** 内科学講座消化器内科肝臓分野

柿坂啓介 先生インタビュー



Q1.リポジトリで論文を公開することについて、どのようにお考えですか？

A.私共の教室の考え方を広く公知できるため、大変有用な手段だと思っております。多くの研究者と議論をする上でも、自分たちの考えや研究結果を知ってもらおうことが ます第一歩だと考えています。

Q2.登録申請数 No.1、おめでとうございます！メッセージをお願いします！

A.それまでリポジトリの存在は知っていても なかなか申請までは手間がかかるなと感じており、申請していませんでした。リポジトリに登録しようと思ったきっかけは、論文作成時の参考文献が 京都大学のリポジトリに登録されていたことです。そのおかげで、全文を読む機会を得られました。自分の考えや研究結果を 広く知らせるために、有効な手段であることが感じられた経験でした。また、実際に申請してみると 図書館の皆さんがほとんどの手続きをサポートしてくださり、手間が全くかからなかったことも印象的でした。今回のことは 今まで発表したものを まとめて申請した結果なのだと理解しております。これからも 少しずつでも研究や考えを形に残し、それをリポジトリに登録できればと思っております。

柿坂先生、お忙しい中インタビューに答えていただき、ありがとうございました！

…豆知識…



デジタルリポジトリ連合(DRF)をご存知ですか？

平成 28 年度末で解散しましたが、機関リポジトリの構築と運営に係る人材育成や情報共有を通じて、国内リポジトリの発展とオープンアクセスに多大な貢献をしてきました。平成 18 年度に北海道、千葉、金沢の三国立大学の図書館員が中心となって発足し、当初の加盟は 25 機関でした。その後、リポジトリ設置機関の急増に伴い、最終的には 157 機関が参加しました。

現在、主な活動は 2017 年 7 月に発足したオープンアクセスリポジトリ推進協会(JPCOAR)で継続されています。

ランキング



2017.3~2017.6

【閲覧数】

- ①「AS におけるリスクスコア 4 者、EuroSCORE、EuroSCORE2、STS score、J score の比較、検討」
金 一先生他(心臓血管外科学講座)：186 回
- ②「歯根形態の年代差、特に小臼歯歯根の大きさについて」
千葉 充先生他(当時歯科矯正学講座)：172 回
- ③「SNF2H interacts with XRCC1 and is involved in repair of H2O2-induced DNA damage.」
久保田 美子先生他(生化学講座)：143 回

【ダウンロード数】

- ①「摂取可能食品の調査による咀嚼能力の評価」
内田 達郎 先生他(当時歯科補綴学第一講座)：1267 回
- ②「閉塞型睡眠時無呼吸症候群患者に対する下顎前方誘導装置の適用」
久保田 宗次先生他(当時歯科矯正学講座)：790 回
- ③「脳室周囲白質軟化症児における学齢期の自尊心評価」
内出 希先生(神経精神科学講座)：375 回

【登録申請数】

MVP 柿坂 啓介先生
(内科学講座 消化器内科肝臓分野)

めいちゃんのもっもっ日記

雨上がりのあとに薬草かんさつ
にてかけてみたら草花の色が
さらにキレイになっていて
うれしい気持ちになったよ。
今年の七夕の願いごとは
「リポジトリの登録とアクセスが
増えますように♪」(二兎を追う
者一兎も得ず。かなあ)

発行：岩手医科大学附属図書館

E-mail：repo@jiwate-med.ac.jp

TEL：019-651-5110(ダイヤルイン) (内線)内丸本館 2303, 矢巾分館 5360